



イラク復興支援群活動報告

17. 4. 17

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 體 (4月17日)

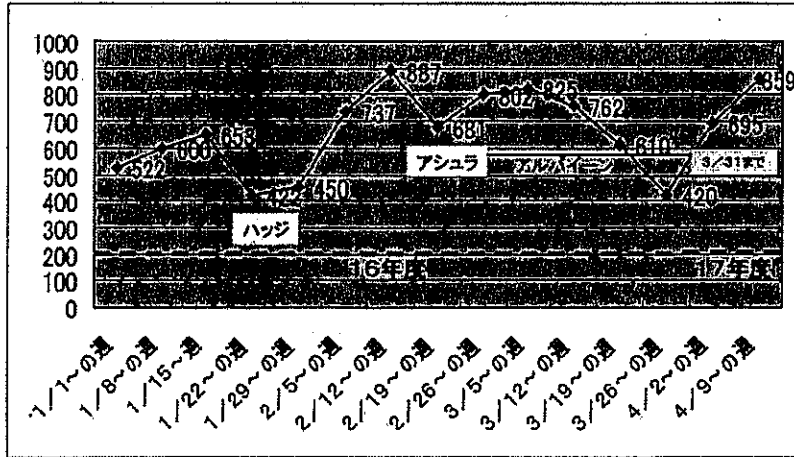
○ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、具状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療：総合病院衛生器材紹介式（サマーワ）
別紙第1「総合病院衛生器材紹介式（サマーワ）」
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
- 8カ所（サマーワ×4、マジット、スウェイル、ナジミ、ワルカ）での役務作業
 - ・ 道路の改修：
- アピンリッシュ地区及び羊三叉路連絡道施工状況確認（サマーワ）
別紙第2「アピンリッシュ地区及び羊三叉路連絡道施工状況確認（サマーワ）」
 - 3カ所（サマーワ×3）での役務作業
 - ・ PHCの改修：
- 3カ所（サマーワ、ワルカ、ヒドル）での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
- サマーワ市内水道管施工状況確認
別紙第3「サマーワ市内水道管施工状況確認」
 - 3カ所（サマーワ×2、ワルカ）での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
- 8カ所（サマーワ×7、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
- 1カ所（サマーワ）での役務作業
 - ◆ 人道復興関連物資等の輸送
 - ・ 寄付関連物資の輸送調整（宿营地）

全 體 (4月17日)

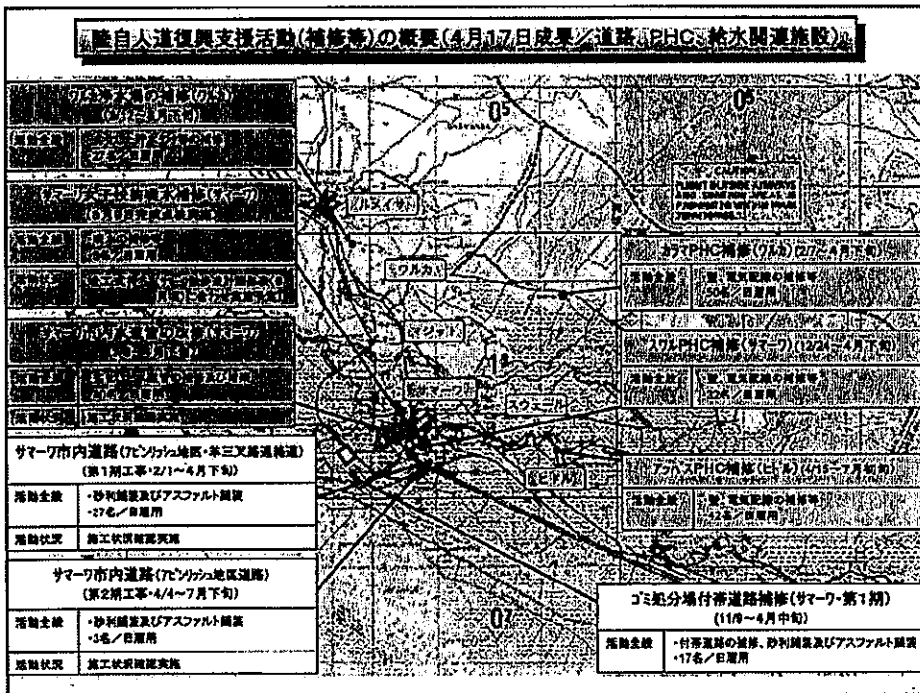
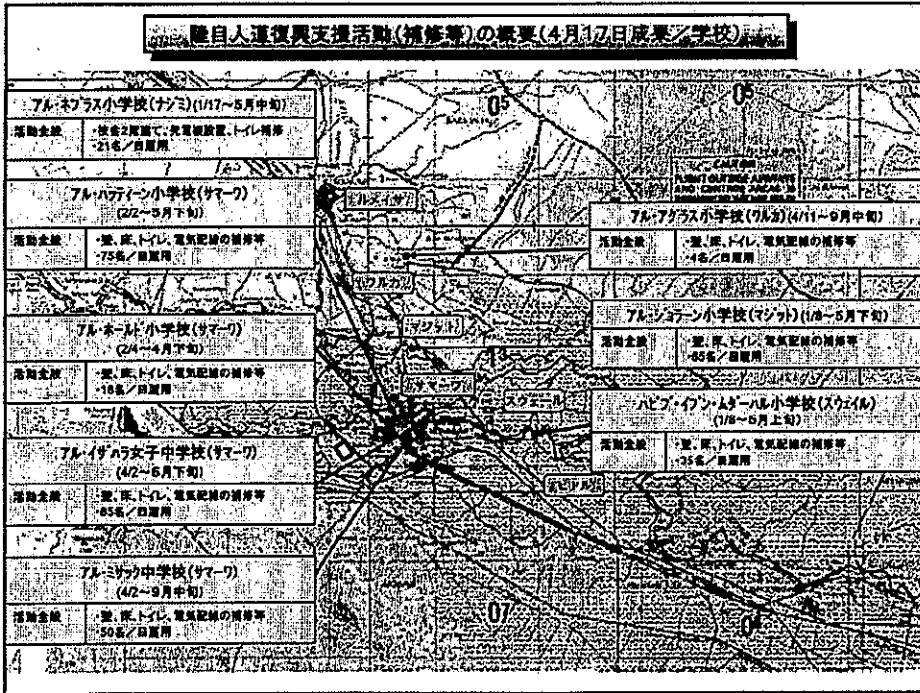
- 宿营地関連施設の整備
 - ・ 医務室耐弾補修作業
 - ・ 耐弾性強化施設補修作業
 - ・ 浴場排水施設の構築
 - ・ 緊急CP補修
 - ・ コンテナ再配置作業
 - ・ ゲート道整備
 - その他
 - ・ 業支隊長、県知事及び県評議会議員との懇談実施
別紙第4「県知事及び県評議会議員懇談」
 - ・ 警備中隊射撃訓練実施（第3射場）
 - ・ 日英通信会同実施（キャンプ・スミッティ）
 - ・ 対外発信関連：FUJ14月号発行
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ21両に対し約208t（約46,000人分）が配水された。
4月17日まで計約11,216t（約2,492,000人分）配水（4.5リットル/人・日換算）
 - ・ 4月17日現在の雇用人員
医療（PHC等）124名、学校修復331名、道路補修47名、青年・スポーツ関連154名、
清掃事業関連23名、給水関連57名、通訳58名、警備40名、給仕1名、ゴミ処理3名、
し尿処理3名、清掃3名、土壌解体作業20名、エンジニア2名、タクシー20名、床屋2名、
弁護士1名、アドバイザー1名、電気工等3名、T-レックス操作等2名
- 計895名

役職雇用人数の推移(週平均、金額除く)

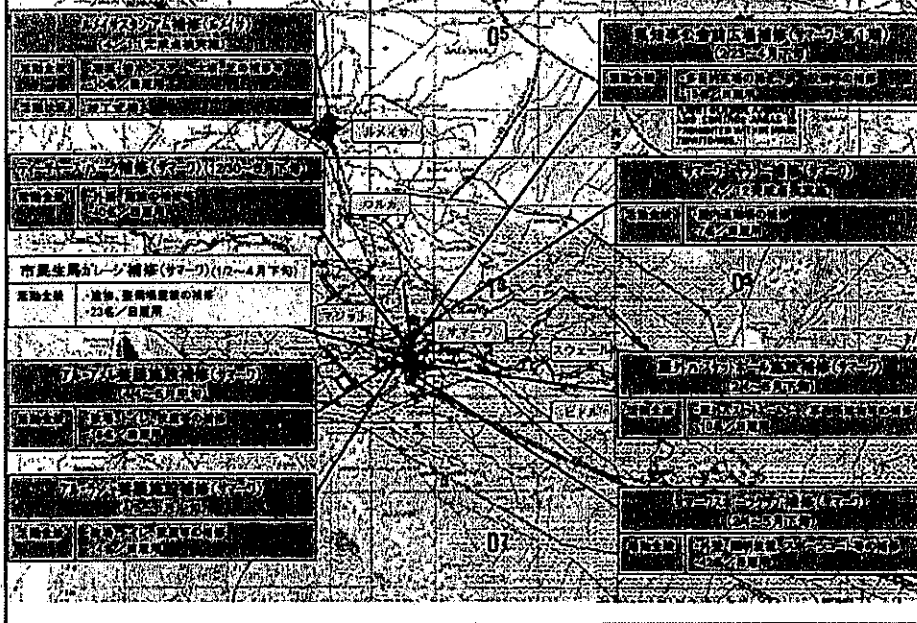


全 職 (4月17日)

- クウェート分遣班
 - ・ 支払業務
 - ・ 業者調整
 - ・ 消耗品現地調達
- バクダッドLO
 - ・ 恒常業務
- バスラLO
 - ・ 恒常業務
- スミッティLO
 - ・ 恒常業務
- クウェート大使館LO
 - ・ 恒常業務



難民人道復興支援活動(補修等)の概要(4月17日成果/青年・女性・福祉・清掃事業)



		人員現況																			
上段:増人員数 下段:減人員数		サマーワ		クウェート		バグダット		バスラ		キヤブ・スズヤ		ドバイ		国外		国内		【備考】 難民の文化及び 増減人員の内訳			
区分	所属人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員		増減人員	所在人員	
5次支援隊	481	481	0 0	481	-	0 0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	481	0 0	481	0 0	0	
5次要需 派遣隊	10	10	0 0	10	-	0 0	0	-	-	-	-	-	-	-	10	0 0	10	0 0	0	0	
復興支援隊	109	75	0 0	74	25	0 0	20	4	0 0	4	4	0 0	4	1	0 0	5	109	0 0	109	0 0	0
合計	600	565	0 0	563	25	0 0	20	4	0 0	4	4	0 0	4	1	0 0	6	600	0 0	600	0 0	0

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
本日のTV電話使用人数:1名、FOMA使用人数:20名(1通話のTV電話合計:12名、FOMA合計:48名)

装備の現況 (車両等)

		車 両															計				
		小 型	中 型	救 急	軽 甲	高 機	W A P C	業 4	マイ ク ロ	施 設	水 タン ク 車	燃 料 タン ク	冷 凍 車	セ ミ ト レ	大 型	特 大		浄 水 セ ツ ト	重 レ ッ カ	溶 接 車	修 理 車
I Q	サマワ	13	10	2	44	20	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	187	
	シャイバ																				
	バスラ					1														1	
	タリル																				
	バクダット																				
	計	13	10	2	44	21	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	188	
K W	キャンVA	1			2			2	1					6						12	
	キャンアリアジャン																				
	計	1			2			2	1					6						12	
総 計		14	10	2	46	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	1	1	2	200	

装備の現況 (武器)

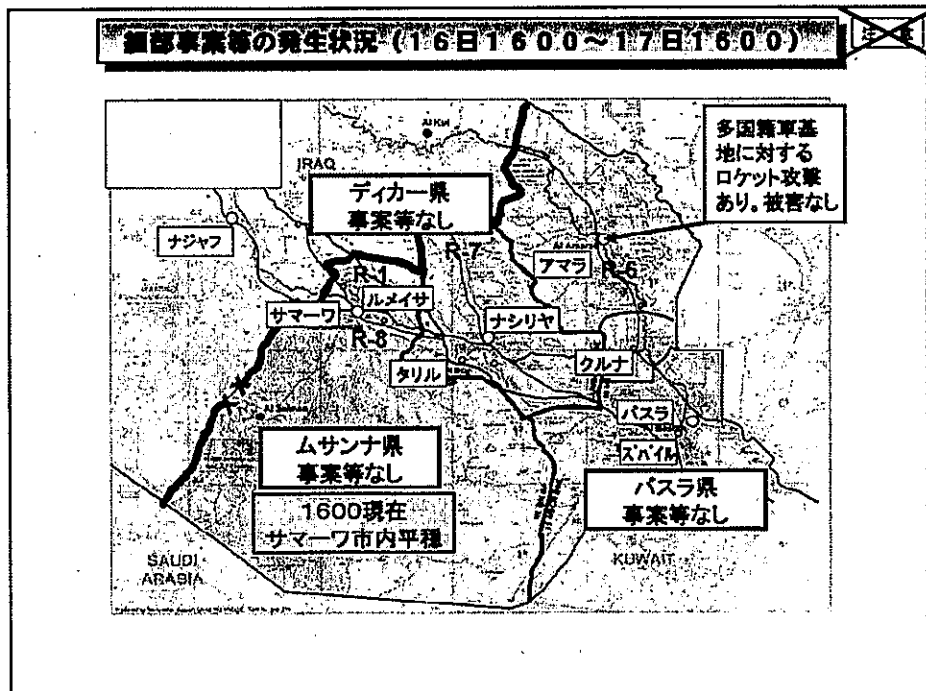
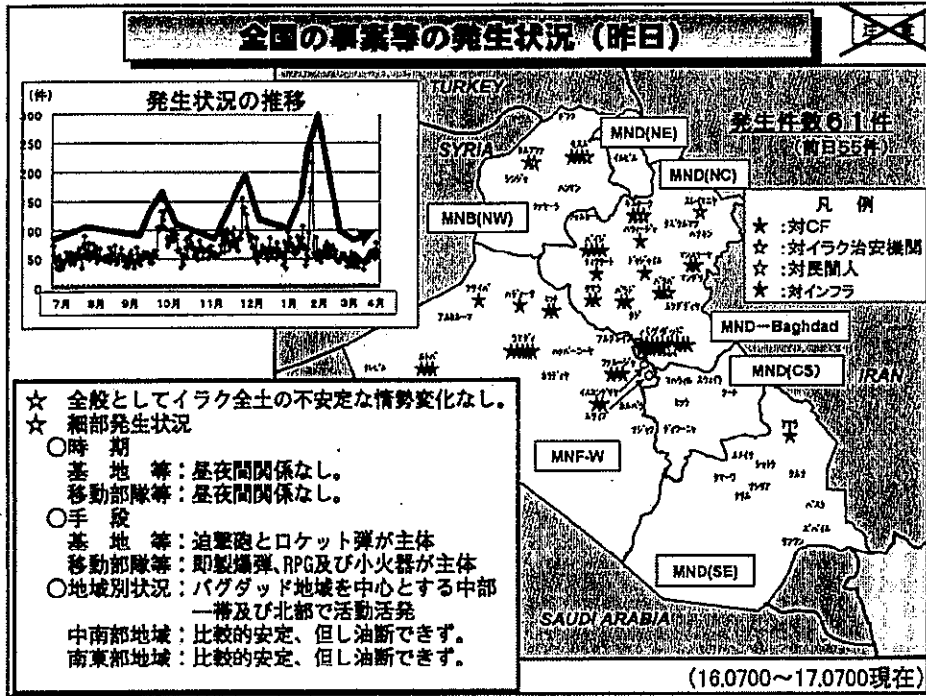
		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	番号拳銃
I Q	サマワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンVA							
	キャンアリアジャン							
	計							
総 計								

装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	203	201	2	0	燃タ×1 吐出ポンプ圧力調整 バルブ摩耗 WAPC×1底板亀裂	整備待ち 後送待ち
中型ドーザ	1	0	1	0	油漏れ(トルコン油圧ホース不良)	部品待ち
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	3	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ	整備調整中
コンテナスキャナー	2	1	1	0	No2:画像映らず	故障探求中
エアコン	657	634	0	23		
発電発電機(6kw)	90	65	16	18	オイルシール不良×13 エンジンドレイン不良×3	部品待×7 整備待×6 部品待×3
発電発電機(25kw)	70	63	5	2	オイルシール不良×5	部品待×5
発電発電機(60kw)	59	34	0	25		
発電発電機(180kw)	17	17	0	0		
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	後送中

装備品等の可動・不可動の状況②

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考	
浄水セット	官品	4	4	0	0		
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視システム	昼用						
	夜用						
近距離監視システム							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							



15日朝日「サマワ宿営地近くで銃撃 地元部族の抗争か」

【記事の概要(15日asahi.com)】

- 宿営地付近で14日夜、銃撃戦が発生(警察筋)
 - 宿営地北約2キロの果樹園で機関銃や小銃などによる撃ち合い
 - 地元の部族ザイード族内部の抗争で陸自を狙ったものではない
 - ザイード族では、自衛隊からの仕事の配分を巡り内部で不和
 - 13日にも別の部族が深夜パトロールに発砲する事案発生
- 【現地情報】
- 宿営地北側における銃撃戦は発生していない
 - 一連の宗教行事が明け、14日前後は各地で結婚式が多く実施
 - 宿営地北東のアスカリ地区でも多くのセレブファイヤーがあった
 - ザイード族内における抗争は現在のところ確認されていない
(土地交渉、雇用を巡る部族内の対立は陸自においても確認されていない)
 - 13日夜の部族は「ズウェイド族」である。拘束はされていない

<評価> 治安当局が否定しており、朝日の現地記者が陸自雇用通訳に電話で、聞き取りをしていた事実があることから、役務通訳の発言をつなぎ合わせて記事にした可能性がある

15日共同「陸自宿営地近くで発砲騒ぎ」

【記事の概要(15日サマワ共同)】

- 14日夜、別々の部族に属する男女の結婚を巡るトラブルで、出席者が威嚇のために発砲する騒ぎが発生
 - 現場は宿営地北西約2キロ
 - 結婚に反対する花嫁側のメンバーが車4台で押しかけ
 - 警官が事前に警戒しており、メンバーが立ち去ろうとした際、花嫁側の部族が空に向け威嚇発砲

【現地情報】

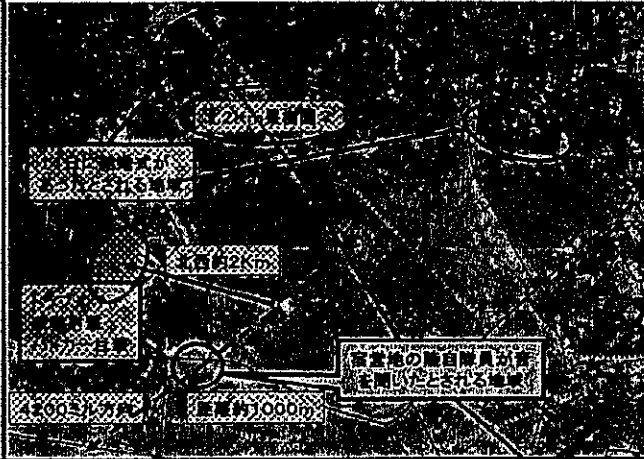
- いざこざがあったのは事実(警察が仲介し騒ぎ収まる)
- その付近で結婚式があるとの情報は事前に入手
- パトカーの存在が確認されていることから、警官が事前に警戒していたという記事の内容は事実と推測される

<評価>

外務省からも同様の情報を入手しており、記事の内容はほぼ事実と推測

15日 宿営地における飛しょう音の確認事実との関連

- 一連の宗教行事が終了し、ここ数日は結婚式ラッシュ(各地でセレブファイヤー実施)
- 果樹園?での銃撃戦については警察が否定
- 北西2Kmの地域での結婚式トラブルは警察が確認



<評価>

- 陸自を狙った攻撃(ロケット弾等の発射)の可能性はない
(反多国籍軍の現状、部族・雇用関係、一斉捜索の結果から)
- 飛しょう音は、宿営地西側の結婚式に係るトラブルによる射撃若しくはセレブレーションファイヤーであった可能性あり

金曜礼拝の状況

- 【アル・グレイブモスク:サマーワ市内(サドル派)】
 - 未実施(原因不明)
- 【アル・サマーワモスク:サマーワ市内(サドル派穏健派)】
 - 説法者:アワディ師(約150名)
 - 内容:「イスラムの歴史と新しい政府に対する歓迎の意」
- 【アルメディーナモスク:ルメイサ(サドル派)】
 - 説法者:アドナン師(約750名)
 - 内容:「アメリカとアメリカ寄りの政府はいらない」
「ジャフアリ首相を歓迎、彼に望むことは日一日イラクを良くすること」「彼ならイラクをすばらしい国にしてくれる」
- 【マムラハモスク:サマーワ郊外(サドル派)】
 - 説法者:ハッサン師(70名)
 - 内容:「新政府に望むことは仕事の創出である」

<評価>

- いずれのモスクも日本・英軍に関する発言なし
- 9日のデモの成功には触れず、新政府に対する期待(ジャフアリ首相はダアワ党出身)を強調⇒新政府に一定の理解

サドル師から警察へのメッセージビデオ

【概要】

- 入手日:4月13日
- 場 所:サドル派モスク

○内 容

- 「サドルよりイラク警察官へ宛てた最初の手紙」
- 「人民は君たちの友である
テロリズムは敵である
人民は君たちである
侵略者に賛成するな」



裏面



السلام عليكم والرحمة من الله تعالى
والصلاة والسلام على من لا نبي بعده
والصلاة والسلام على من لا نبي بعده

○裏面

- イラク警察への賛辞
- イラク人による自治
- 多国籍軍の拒絶

<評 価> ●多国籍軍に対し攻撃的な行動を扇動するような記述はなし
●イラク警察の一定の立場を認め、治安関係者内にも支持者を獲得し、
年末の選挙へ向けた基盤固めの方策の一つと推測

VBIEDの可能性ある車両がサマーワへ

【概要】

- 2台の車載爆弾がサマーワ市内に侵入
 - 赤のオペルで、車番はムサンナの11029
 - 白の車(車種車番不明)で、英国旗のマークがついている
- 他に確認したところ、バグダッドから警戒情報に上記類似の情報あり(車両は3両、ただし、イラク国内のどこかにおりサマーワに入ったとの情報なし)

【現地情報】

- そのような情報はない(県治安最高責任者等)
- 各種検問所が検問を強化した様子はない

【サマーワ英軍・多国籍軍(SE)】

- 陸自からの照会后、本情報を認知(当初脅威情報なし)

<評 価>

●警察幹部からの情報及び市内の検問等の様子から、緊迫した状況ではなく、本脅威情報の真偽も定かではないが、市内での活動及びゲートの警備は引き続き警戒を厳にしつつ実施

ヒドルで部族間抗争

【概要】

○ヒドルのAl-Jwabir族(ヒドル地域の最大部族)内の部族同士による抗争が発生

- 当事者はAl-Hassan氏族内のRahman族とAgerb族
- 原因:土地を巡る抗争

○4月15日、200名程度による射撃を含む抗争が発生、イラク警察から応援要請を受けた英軍が出動したが、抗争については既に沈静化 →以前同様の事案が発生した際に、蘭軍(当時)のヘリが出動し事態が収拾したことから、イラク警察が要請したもの

【現地情報】

○部族間抗争が発生したのは事実

→ヒドル市街地の郊外であり、部族間の問題であるので問題なし

【陸自の活動予定】

○ヒドルにおける陸自の活動は、28日頃まで予定されていない

<評価>

- 既に沈静化していること、及び当面活動については予定されていないことから、陸自の活動に大きな影響はない
- 突発的な発生も予想され、情報収集は継続

「陸自年内撤退」に関する市民の風評

【概要】

○「陸自が年内にイラクから引き上げるのではないか」との噂が、市民の間に広まっている

⇒現在は単なる噂として、市民は真面目には捕らえていない

⇒なぜなら、陸自が当初展開した際に陸自関係者が「陸自隊は少なくとも5年はサマーワに駐屯する」と明言したからとのこと(実際に発言があったか否かは不明)

○仮に陸自撤退に関する報道がTVニュース等で流れた際には、「断固反対の示威行動を組織し、宿営地への大規模デモを実施する可能性がある」との噂も存在

⇒豪軍展開ニュースの際に、治安が安定すれば陸自活動が多くなり、企業も進出するとの報道があり、人々は真剣に受け止めている

<評価>

- 陸自が展開していることにより生計を立てている人々が多数おり、日本企業が進出しないまま撤退すれば、職が無くなるとの不安からの発言と推測
- 市民及び役員雇用者の間に、ちらほら陸自撤退に関する話題が出ていることも事実である。噂の社会であるので軽率な発言は控えるべき

イラク全土の全般情勢評価 (4.17)		
(4月13日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に、中北部において武装勢力による多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続(北部(モスル)での攻撃増加) ●新政権の主要メンバー決定前後から、若干増加(一日平均40~50件台⇒50~60件台) 	3/7追加 4/13追加
スンニ派 過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アッサール・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 	4/11追加
前政権残党	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●4/9のバグダッドでの大規模集会の成功により、存在をアピール⇒12月の選挙には単独で政治参加の可能性 	4/11追加
トレンド (特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●不発弾処理を狙ったIEDが増加傾向(9月以来5件)→最初のIEDの下に2番目が隠されており処理時に爆発 ●偽物IEDが増加傾向(処理隊の対処手順を観察か) 	4/5追加

イラク南東部の全般情勢評価 (4.17)		
(4月16日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	比較的安定→多国籍軍/SCIRI(シーア派政党)に対する脅威情報	3/10追加
スンニ過激派 国際テロリスト 前政権残党	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●前政権残党による多国籍軍(ヘリ含む)への攻撃の可能性 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●行政機関への勤務、貿易の促進を提唱 ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在→最近の攻撃はサドル派の関与の可能性あり ●幹部殺害事案に関連し多国籍軍批判強める可能性は低い ●サドル派はその存在感を増大させる可能性⇒一部の過激分子を抑えられるか否かが今後の鍵 	3/12追加 4/16修正 4/11追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ・IED・自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し ・カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ・ASRサークル路面状況悪化(タンバは4/20開通予定) 	
タリル空港	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂に対する自爆テロ情報(業者を装い)あり ・IED・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒 	3/14追加

ムサンナ県の全般情勢評価 (4.17)

(4月16日の報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	・比較的安定、しかしながら油断は出来ず ・英軍に対する市民の反応は、「様子見」の状態か →明確な敵意等の表示は市内で見られず	3/27追加 3/13追加
スンニ過激派 国際テロリスト	・スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための準備等のため存在する可能性あり	
サドル派	・切迫した緊張感なし(蘭・英軍とサマーワ代表会談) ・サドル派民兵については特異動向なし(イラク警察情報) ・幹部殺害事案に関連し多国籍軍批判を強める可能性は低い	3/5追加 4/16修正
部族関連	土地交渉等に不満を持つ一部の部族関係者が迫撃砲、又はロケットによる攻撃(脅し)を実施する可能性	
選挙関連	アルバーン終了につき、各種デモ(反知事・雇用・サドル派等)が突発的に生起する可能性→市内活動は注意	4/3追加

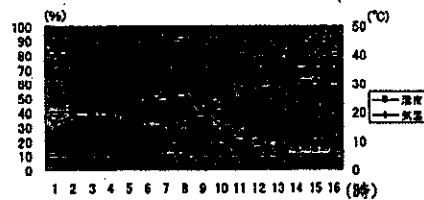
現地の気象情報

報告内容

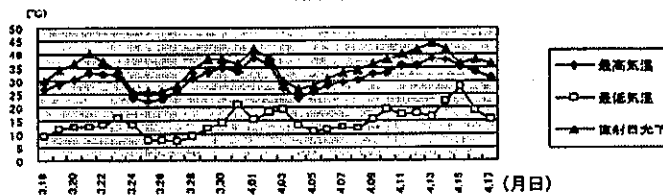
サマータイム

日の出 : 0628
 日の入り : 1929
 天候 : 晴れ
 気温 : 最高31.3℃、最低15.8℃
 : 最高36.0℃(直射日光下)
 湿度 : 31.8%
 風速 : NW 3~5 m/s

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



4月18日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
群長(J1)	宗支隊長(J2)	対外調整(J21)	人員輸送(J3)
0820-0840: モーニング・ミーティング			
1100-1400: MNF-1 訪問受け対応	1100-1400: MNF-1 訪問受け対応	0900: 宿営地発 0930-1130: 保健局定例会間及び県産薬品富庫販 売技術指導 (サマーワ) 1200: 宿営地着	0830: 宿営地発 1030-1300: タリLAB(C-130) 欠薪の場合CVに 前進) 1500: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)	
		人員22名 車両4両 (LAV×3) (HVM×1)	人員18名(復路17名) 車両5両 (LAV×4) (Amb×1)

4月18日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
会議・会間・情報収集等(J6)	施設支援(J71)	施設支援(J72)	医療支援(J8)
0820-0840: モーニング・ミーティング			
	0820: 宿営地発 0930-1030: アルタフォーク小 学校施工状況確 認(ルメイサ) 1130: 宿営地着	0835: 宿営地発 0905-1000: 知事公舎前広場施 工状況確認 (サマーワ) 1020-1120: ティーチャーズバー ク施工状況確認 (サマーワ) 1150: 宿営地着	0800: 宿営地発 0830-1230: 総合病院医療技術 指導(サマーワ) 1300: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)	
	人員19名 車両4両 (LAV×3) (HVM×1)	人員18名 車両4両 (LAV×3) (HVM×1)	人員19名 車両4両 (LAV×3) (HVM×1)

4月18日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
ルートチェック(J101)	ルートチェック(J102)	訪問受け対応 (J103)	訪問受け対応 (J104)
0820-0840: モーニング・ミーティング			
		1030: 宿営地発 ～: ヘリ離着陸時の警戒 (宿営地周辺) 1100: 宿営地着 1330: 宿営地発 ～: ヘリ離着陸時の警戒 (宿営地周辺) 1400: 宿営地着	1030: 宿営地発 ～: ヘリ離着陸時の警戒 (宿営地周辺) 1100: 宿営地着 1330: 宿営地発 ～: ヘリ離着陸時の警戒 (宿営地周辺) 1400: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)	
		人員7名 車両2両 (LAV×2)	人員7名 車両2両 (LAV×2)

4月18日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
ORF(J20)	MNF-I 訪問受け対応(S2)	役務警備員配置(S6)	MND(SE)J-3 EOD班長等対応(S9)
0820-0840: モーニング・ミーティング			
	1100-1400	0530: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1130: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1930: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地	18日0930 ～ 19日1430
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)	
	群S-1計画	警備中隊計画	索支隊S-3計画

4月18日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
要 術(S11)	浄水活動(S12)	宿営地内工事・作業(S13)	群主力の行動(S15)
0820-0840:モーニング・ミーティング			
	0730-1200:大量送水システム 整備・運転	0800-1600:既設室耐弾補修 作業 0800-1600:耐弾性強化施設 補修作業 0800-1600:浴場排水施設の 構築 0800-1600:緊急CP補修 0800-1600:コンテナ再配置作 業 0800-1600:ゲート道整備	朝礼後-1100:宿営地内業務 1100-1400:MNF-1 対比 訪問受け 対比 終了後-1600:宿営地内業務
1615-1645:イブニング・ミーティング 1715-1745:MND(SE)指揮官電話会議(群長)			
	給水隊計画	施設隊等計画	群S-1計画

4月18日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
空中監視活動(S16)			
0820-0840:モーニング・ミーティング			
0730-0730			
1615-1645:イブニング・ミーティング 1715-1745:MND(SE)指揮官電話会議(群長)			
群S-2計画			

4月18日(月)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・ 検品・車両点検 ・ 輸送準備 ・ 内局郵量交代支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務

17. 4. 17

モミガミステック(17.08.10)

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:
 - 一昨日、帰隊のヘリがキャンプ・スミッティに着陸した後、前任の英軍LOの助けで速やかに宿営地に帰ってくる事が出来た。このことから、平常からの緊密な連携や警段の確意ある対応というものがこの様な機会に活かされるということを確認した。逆に英軍が困っている時には、今後とも精一杯の対応をしてやる事が大切である。
 - 一SNR会議では、日本隊に対する期待や日本隊の活動成果に対する興味の高さというものを実感することができ、参加して本当に良かったと感じている。それだけ、日本隊及びその活動が注目されているということでもあり、今後ともしっかりとやっつけよう。

モミガミステック(17.16.15)

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:
 - 一明日、宿営地を訪問予定のMNF-I参謀長 [REDACTED] は、とても気さくな人で、明日の訪問を非常に楽しみにしている。みんなには警段どおりにしてもらえばそれで良いし、少将から話しかけられたりした場合は、明るく元気に答えてもらいたい。こうしてMNF/C-1の高官に宿営地を訪問してもらうことは極めて重要なことである。それだけ日本隊に関心を持ってもらったということであり、そのことが我々の活動に対する理解に繋がっていくものである。

総合病院衛生器材紹介式(サマーワ)

別紙第1



来賓隊員スピーチ



インタビューの様子



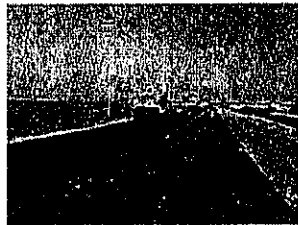
式典参加者一同



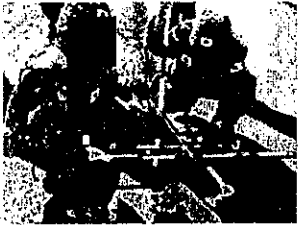
取扱い要領を説明する医師

アピンリッシュ地区及び羊三叉路連絡道施工状況確認(サマーワ)

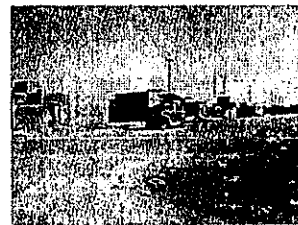
別紙第2



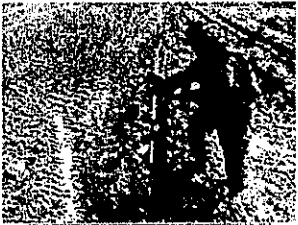
羊三叉路連絡道全景



施工状況確認中の隊員



アピンリッシュ地区道全景



施工状況確認中の隊員

サマーワ市内水道管施工状況確認

別紙第3



水道管埋設箇所全景



施工中の状況



施工中の状況



施工状況確認中の職員

県知事及び県評議会議長懇談

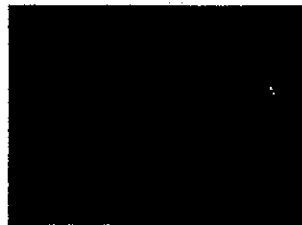
別紙第4



県知事と懇談



懇談の様子



県知事と懇談



懇談の様子

クウェート分遣班業務報告

17.4.17

全 般	
○国内情勢等 ○人員・武器等具状なし ○人員報告:所属人員24名 事故人員5名(サマーワ業務支援3名、戦力回復2名) 現在員19名 ○支払業務、業者調整、現地調達等実施	○天候:晴 ○気温:19~35℃ (直射日光下の最高気温40℃)
本日の活動状況	
恒常業務 ○支払業務(クウェート市内) ○業者調整(クウェート市内) 輸送業者との輸送要領に関する調整 ○現地調達(クウェート市内) 消耗品	その他 ○メイヤーセルとの調整(キャンプバージニア) ・国旗の掲揚に関して ・キャンプ内の通信に関して ・取材対応要領について
明日の予定	
恒常業務 ○検品・車両点検(クウェート市内) 燃料の検品、輸送車両の車両点検 ○輸送準備(クウェート市内) ・運送品の積載 ・コンボイ申請の実施	その他 ○内局部員交代支援 帰国する内局部員のアリアル基地での出迎え及び輸送支援等
その他(教訓・要望事項等)	
特になし。	

区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [] バグダッドは [] モスルは []
2 付記事項	なし
3 本日の業務	(1) C2勤務 昼間(0900-2100)勤務: [] 夜間(1930-0730)勤務: [] (1) 情報収集及び情報資料の送付等 ア 派支隊及び就事情報要対対応 ・ムサンナ県以外のCIMIC情報収集継続(3科) イ C2スタッフ送付件数 9 件 (3) ウェーパー少将及びサック准将視察の為のヘリ調整
4 明日の予定	(1) ウェーパー少将及びサック准将視察随伴 (2) 情報収集及び業務調整
5 その他(備考)	[] 戦力回復(4月19~27日)

バスラLO日々業務報告(4月17日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	バスラ空域 [REDACTED] ・警戒レベル： [REDACTED] ・警戒態勢 [REDACTED]
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 輸送機隊等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応 ・SSR (ISFの戦力化の状況)、豪軍展開関連、BLUE on BLUE関連、MND(SE) [REDACTED] 関連 (3) 定例情報収集： [REDACTED] (4) 定例会議への出席： 司令部朝会議・夕会議、J2総隊統一会議、J3総隊統一会議 (5) 各種会議等参加調整
4 明日の予定	(1) コンボイ等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応、定例情報収集 (3) 定例会議への出席 (4) 各種会議等調整 (5) SIRCG会議参加(凍結延長) (6) MND(SE) EODセル及びAviation スタッフのサマーワ訪問 [REDACTED] 同行
5 その他(備考)	特になし